

「降灰予報の高度化に向けた検討会」(第1回)の開催について

火山噴火で放出される火山灰や風に乗って遠くまで運ばれる小さな噴石については、現在、降灰予報を発表し(平成20年3月31日運用開始)、降灰が予想される範囲をお伝えしていますが、降灰量などの定量的な予測は行っていません。

近年、気象研究所において降灰の量的予測の研究が進展するとともに、気象庁のスーパーコンピュータの更新により詳細な降灰予測計算が可能になったことなど、定量的な予測に向けた技術的な課題は改善されつつあります。一方で定量的な予測を被害の予防や軽減に結びつけるためには、防災情報として適切な内容や方法で提供することが必要です。

これらのことから、防災情報としての量的な降灰予報のあり方について今年度中を目途に提言をいただくため、有識者と関係機関から構成される「降灰予報の高度化に向けた検討会」を開催することとしました。

記

1. 日 時：平成24年7月5日(木)14時00分～16時00分
2. 場 所：気象庁大会議室(気象庁本庁5階)
3. 議 事(予定)：
 - ・降灰による影響や被害について
 - ・降灰予報の現状の課題と防災情報として必要な内容について
4. 検討会メンバー：
別紙のとおり
5. 当日の取材について：
 - ・傍聴は可能ですが、会場の都合上、希望される方はあらかじめ、7月3日(火)17時までに以下の連絡先までご連絡願います。また、場合によっては、席を準備できない場合もありますのでご了承ください。
 - ・写真・映像等のカメラ撮影は、冒頭のみ可とさせていただきます。
 - ・本検討会終了後速やかに議事要旨を公表します。

【連絡先】気象庁地震火山部火山課
(電話) 03-3212-8341 内線 4528, 4767(全体)
4768(傍聴希望)

検討会メンバー (: 座長 ○ : 副座長)

< 学識者 >

- 田中 淳 東京大学大学院 情報学環 総合防災情報研究センター長・教授 (災害情報)
- 石原 和弘 火山噴火予知連絡会副会長、京都大学名誉教授 (火山物理学)
- 小屋口 剛博 東京大学地震研究所 教授 (火山学、火山現象のモデリング)
- 関谷 直也 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科 准教授
(社会心理学、災害情報・環境情報の社会心理)

< 地元の各分野 >

- 大坪 篤史 宮崎県総務部危機管理局 次長兼危機管理課長 (危機管理)
- 福永 敬大 鹿児島県危機管理局 危機管理防災課長 (危機管理)
- 中村 行次 鹿児島市建設局道路部 道路維持課長 (道路管理)
- 黒岩 晋 J A 孺恋村 営農畜産課長 (農業)
- 郡山 千早 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 准教授 (医療)
- 田上 憲一郎 株式会社南日本放送 報道局長 (報道)

< 報道 >

- 山崎 登 日本放送協会 解説主幹

< 国の機関 >

- 藤山 秀章 内閣府政策統括官 (防災担当) 付参事官 (調査・企画担当)
- 山口 英樹 消防庁 国民保護・防災部 防災課長
- 山口 真司 国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課 地震・火山砂防室長
- 鈴木 英一 国土交通省鉄道局施設課 鉄道防災対策室長
- 鈴木 正則 国土交通省航空局交通管制部 管制課長